

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	38105	
事業名	観光分野におけるICT推進費						
評価担当課	所属名	経)観光・MI 観光・MICE					
	課長名	新居 範昭	担当者名	高松 知史	電話番号	011-211-2376	
施策名	主	魅力あるまちづくりと観光振興の一体的推進					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ● その他					
	目的	短期	ICTを活用しデータに基づき、ウィズコロナ・アフターコロナ時代における来札客の観光動態を的確に把握できる環境づくりを進める。併せて、データを利活用した成功事例を創出することで、観光事業者のデータ活用に対する機運醸成を図る。				
		長期	官民が保有する様々なデータを協調して利活用し、絶えず変化する観光動態や多様化するニーズを的確に捉えた観光施策・経営戦略によって、観光客の周遊促進及び消費行動を誘発し、市内の観光消費を拡大する。				
	取組内容	①観光マーケティング事業 購入した携帯基地局データと民間事業者からの無償提供データを収集・加工し、参画者が観光動態を把握できるよう分析・可視化し、官民協同による周遊促進・観光消費拡大を図る取組 ②交通情報一元化事業 各種交通機関の運休・遅延情報を集約し、Webサイトやデジタルサイネージにて情報発信)の実施					
実施結果	①観光マーケティング事業 購入した携帯基地局データと民間事業者からの無償提供データを収集・加工し、参画者が観光動態を把握できるよう分析・可視化し、官民協同による周遊促進・観光消費拡大を図る取組 ②交通情報一元化事業 各種交通機関の運休・遅延情報を集約し、Webサイトやデジタルサイネージにて情報発信)の実施						
事業実施における工夫点	事業実施により把握した課題等を、担当者間で引継ぎ、翌年度に改善及び効率化を図っている。						
対象者	来札観光客、市民、観光関連事業者			開始	0 年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等	地域再生法						
他都市の状況	官民協同によるデータ利活用の取組は、全国でも類のない先駆的な取組であり、国や参画企業からの評価も高い。						

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	35,017	32,000	32,017	30,000	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	0.7	0.4	0.4	0.3	
人件費	5,040	2,880	2,880	2,160	
計(事業費+人件費)	40,057	34,880	34,897	32,160	
事業費の内訳	令和3年度決算	札幌観光ICT推進協議会への負担金 32,000千円 行政財産使用料 17千円			
	令和4年度予算	札幌観光ICT推進協議会への負担金 30,000千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	データ連携への参画事業者数(総数)			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	31	75	32	100	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	B	新型コロナウイルスの影響により、外国人の観光データの収集が出来なかったものの、札幌市ICT活用プラットフォームに格納されている携帯基地局データを始めとした様々なデータを活用し、国内観光客の市内周遊の促進につながる実証的な取組を実施した。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	B	商業データ、宿泊データ等の観光関連データをさらに増加させるため、民間事業者に対し、データ利活用の機運醸成を進めていく取組を行い、参画事業者を拡大していく必要がある。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	B	各事業については、委託で実施しており、業務の効率性や民間手法を取り入れるという観点からも適切である。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに込えているか)	B	新型コロナウイルスの影響により、外国人の観光データの収集が出来なかったものの、札幌市ICT活用プラットフォームに格納されている携帯基地局データを始めとした様々なデータを活用し、国内観光客の市内周遊の促進につながる実証的な取組を実施した。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	現在のプラットフォームには、システム上の理由(データの購入・納品・掲載のサイクル)によるデータの「更新の遅さ」や、購入費用面の制約による「データ項目の乏しさ」、データをファイル形式でダウンロードできないことによる「利便性の乏しさ」などの様々な課題があり、有効的なデータ活用の事例の創出や参画企業数の増加に至らず、事業内容の見直しが必要な状況である。				
前回の評価	○ A    ● B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	札幌市ICT活用プラットフォームに格納されている携帯基地局データを始めとした様々なデータを活用し、国内観光客の市内周遊の促進につながる実証的な取組を実施。		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	○ A    ● B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	新型コロナウイルスの影響により、外国人の観光データの収集が出来なかったものの、札幌市ICT活用プラットフォームに格納されている携帯基地局データを始めとした様々なデータを活用し、国内観光客の市内周遊の促進につながる実証的な取組を実施した。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善    ○ 現状維持    ○ 休止・廃止 より効果的な事業を実施するため、令和3年度の「データの収集や活用等に関する提言」も踏まえながら、令和5年度に事業の再構築に向けた検討を行う予定。			
	予算	● 拡充    ○ 現状維持    ○ 縮小    ○ その他		見直し効果額	0
	上記、事業実施に必要な予算措置を行う。				